

2025 年 11 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社NEW ART HOLDINGS
代 表 者 名 代表取締役会長 白 石 幸 生
コード番号 7 6 3 8 東証スタンダード市場
問 合 せ 先 取 締 役 小 崎 慎 一 郎
電 話 0 3 - 3 5 6 7 - 8 0 9 8

**東西ニューアート設立記念公開オークションにて
葛飾北斎の「重要美術品」が歴代最高額の6億21百万円で落札**

NEW ART グループが新たに設立したオークション会社「株式会社東西ニューアート」（本社：東京都中央区 代表取締役：白石幸生）は、2025 年 11 月 8 日（土）に東京・銀座、東西ニューアートにて設立記念公開オークションを開催いたしました。

出品作品は、江戸時代の浮世絵師、葛飾北斎による肉筆美人画《雪中美人図 蜀山人賛》や、小林一茶の代表作《七番日記》のオリジナル原稿など、江戸期の歴史的価値が高い重要作品をはじめ、草間彌生の原画や白髪一雄による幅8メートルを超える大型作品、さらにピカソ、ミロ、ベルナール・ビュッフェ、カミーユ・コロー、藤田嗣治、棟方志功、速水御舟といった巨匠作家の作品、ガレ、ドーム、ラリックなどの西洋ガラス、カルティエ、ヴィトン、ブルガリ、ジラール・ペルゴ、ロレックス、ランゲ&ゾーネといったブランド品まで出品され開催前から大変注目を集めるオークションとなりました。

落札結果として葛飾北斎による肉筆美人画《雪中美人図 蜀山人賛》はエスティメイト（オークションハウスがつけた落札予想価格）の40 百万～60 百万を大きく上回る6 億 21 百万円（約 404 万ドル）で落札されました。この価格は、昨年3 月にニューヨークのクリスティーズで落札された《富嶽三十六景》〈*1〉の355 万ドル（5 億 31 万円）を上回り、葛飾北斎の作品として歴代最高額となりました。

〈*1〉これは36 枚の連作の合計の落札額。1 点の作品では2023 年3 月にニューヨークのクリスティーズで落札された《神奈川沖浪裏》の276 万ドル（3 億 66 百万円）が、これまでの最高落札価格。

東西ニューアートは今後も、国内外の画廊や美術商との連携を強化し、優れた作品が集まり、安心して売買いただけるオークションプラットフォームとして、出品者・ご購入者の皆様に価値ある場を提供してまいります。引き続きのご支援、ご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

東西ニューアートホームページ

<https://tozai-newart.com/>

以上